

第 9 章 E メールエージェント情報の設定

9.1 メールチェック情報

9.1.1 email delete

【機能】

E メールエージェントのユーザ情報の削除

【入力形式】

email delete <count>

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号
ユーザ定義番号を、0～9 の 10 進数値で指定します。省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。
- all
すべてのユーザ定義番号を削除の対象とします。

【説明】

E メールエージェントのユーザ情報を削除します。

9.1.2 email use

【機能】

E メールエージェントのユーザ情報の有効 / 無効の設定

【入力形式】

email [<count>] use <mode>

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0~9 の 10 進数値で指定します。省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

<mode>

- on

ユーザ情報を有効にします。

- off

ユーザ情報を無効にします。

【説明】

E メールエージェントのユーザ情報を有効とするかどうかを設定します。
無効に設定しても、E メールエージェントのユーザ情報は削除されません。

【未設定時】

E メールエージェントのユーザ情報は有効とみなされます。

```
email <count> use on
```

9.1.3 email check delete

【機能】

メールチェック関連情報の削除

【入力形式】

email [<count>] check delete

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9 の 10 進数値で指定します。省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

【説明】

メールチェック関連情報を削除します。

9.1.4 email check server

【機能】

メールチェック時のメールサーバの設定

【入力形式】

email [<count>] check server <host> [<port>]

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9の10進数値で指定します。省略した場合は、0を指定したものとみなされます。

<host>

- メールサーバ名

メールサーバ (POP サーバ) のホスト名を、0x21,0x23～0x7e の 80 文字以内の ASCII 文字列で指定します。

ホスト名を指定した場合は、本装置が DNS サーバを使用可能な状態でなければなりません。

- メールサーバ IP アドレス

メールサーバ (POP サーバ) のホストの IP アドレスを指定します。

<port>

- ポート番号

メールサーバ (POP3 サーバ) のポート番号を、1～65535 の 10 進数値で指定します。

省略した場合は、110 を指定したものとみなされます。

【説明】

メールチェック時のメールサーバ (POP3 サーバ) の設定を行います。

【未設定時】

メールサーバは未設定です。

9.1.5 email check server delete

【機能】

メールチェック時のメールサーバの削除

【入力形式】

email [<count>] check server delete

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9 の 10 進数値で指定します。省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

【説明】

メールチェック時のメールサーバ (POP3 サーバ) の設定を削除します。

9.1.6 email check type

【機能】

メールチェック認証方式の設定

【入力形式】

email [<count>] check type <type>

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9の10進数値で指定します。省略した場合は、0を指定したものとみなされます。

<type>

- pop

POPの認証方式でUSER/PASSコマンドを使用します。

- apop

POPの認証方式でAPOPコマンドを使用します。

【説明】

メールチェックの認証方式の設定を行います。

【未設定時】

POPの認証方式にUSER/PASSコマンドを使用するものとみなされます。

9.1.7 email check user

【機能】

メールチェック認証情報の設定

【入力形式】

email [<count>] check user <user> <pass> [encrypted]

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9の10進数値で指定します。省略した場合は、0を指定したものとみなされます。

<user>

- ユーザ名

メールの受信に使用するユーザ名を、0x21,0x23～0x7eの32文字以内のASCII文字列で指定します。

<pass>

- パスワード

メールの受信に使用するパスワードを、0x21,0x23～0x7eの80文字以内のASCII文字列で指定します。

- 暗号化されたパスワード

show コマンドで表示される暗号化されたパスワードを encrypted と共に指定します。

show コマンドで表示される文字列をそのまま正確に指定してください。

encrypted

- 暗号化パスワード指定

<pass>に暗号化されたパスワードを指定する場合に指定します。

【説明】

メールチェック情報の認証情報の設定を行います。

【注意】

show コマンドでは、暗号化されたパスワードが encrypted と共に表示されます。

show email [<count>] check user を実行すると、暗号化していないパスワードが表示されます。

【未設定時】

ユーザ名およびパスワードは未設定です。

9.1.8 email check user delete

【機能】

メールチェック認証情報の削除

【入力形式】

email [<count>] check user delete

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9の10進数値で指定します。省略した場合は、0を指定したものとみなされます。

【説明】

メールチェックの認証情報を削除します。

9.1.9 email check rcheck

【機能】

リモートメールチェック ID の設定

【入力形式】

email [<count>] check rcheck <rcheck>

【パラメタ】**<count>**

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9 の 10 進数値で指定します。省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

<rcheck>

- リモートメールチェック ID

遠隔地からメールチェックを行うための識別コード (サブアドレス) を、0x21,0x23～0x7e の 19 桁以内の ASCII 文字列で指定します。

"delete"を指定することはできません。

【説明】

リモートメールチェックで使用する識別コード (サブアドレス) を設定します。

【未設定時】

リモートメールチェック ID は未設定です。

9.1.10 email check rcheck delete

【機能】

リモートメールチェック ID の削除

【入力形式】

email [<count>] check rcheck delete

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9 の 10 進数値で指定します。省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

【説明】

リモートメールチェックで使用する識別コード (サブアドレス) の設定を削除します。

9.1.11 email check action mode

【機能】

メールチェック動作モードの設定

【入力形式】

email [<count>] check action mode <mode>

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9の10進数値で指定します。省略した場合は、0を指定したものとみなされます。

<mode>

- time
指定時刻にメールチェックを行います。
- interval
一定間隔でメールチェックを行います。

【説明】

メールチェックの動作モードを設定します。

- time
指定時刻にメールチェックを行う場合は、email check action time で実行時刻を設定します。
- interval
一定間隔でメールチェックを行う場合は、email check action interval で実行間隔を設定します。

【未設定時】

指定時刻にメールチェックを行うものとみなされます。

```
email <count> check action time
```

9.1.12 email check action time

【機能】

メールチェック実行時刻の設定

【入力形式】

email [<count>] check action time <time_count> <day> <time>

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9の10進数値で指定します。省略した場合は、0を指定したものとみなされます。

<time_count>

- 実行時刻定義番号

メールチェック実行時刻の定義番号を、0～2の10進数値で指定します。

<day>

- 曜日

メールチェックを実行する曜日を、以下の中から指定します。

sun	日曜日
mon	月曜日
tue	火曜日
wed	水曜日
thu	木曜日
fri	金曜日
sat	土曜日

- any

メールチェックの実行を毎日とする場合に指定します。

<time>

- 実行時刻

実行する時、分を、0～9の4桁の10進数値で指定します。

(例: 0635 = 午前6時35分、2330 = 午後11時30分)

【説明】

メールチェックの実行時刻を設定します。

メールチェックの実行時刻は、3個まで定義できます。

【未設定時】

メールチェックの実行時刻は未設定です。

9.1.13 email check action time delete

【機能】

メールチェック実行時刻の削除

【入力形式】

email [<count>] check action time delete <time_count>

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9の10進数値で指定します。省略した場合は、0を指定したものとみなされます。

<time_count>

削除するメールチェック実行時刻を指定します。

- 削除する実行時刻定義番号

削除する実行時刻定義番号を指定します。

- all

すべての実行時刻の設定を削除する場合に指定します。

【説明】

メールチェックの実行時刻の設定を削除します。

9.1.14 email check action interval

【機能】

メールチェック実行間隔の設定

【入力形式】

email [<count>] check action interval <time>

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9の10進数値で指定します。省略した場合は、0を指定したものとみなされます。

<time>

- 実行間隔

メールチェック実行間隔を、18000 秒 (5 分)～2592000 秒 (30 日) の範囲で指定します。

単位は、d(日)、h(時)、m(分)、s(秒) のいずれかを指定します。

【説明】

メールチェックの実行間隔を設定します。

【未設定時】

メールチェックの実行間隔は未設定です。

9.1.15 email check action interval delete

【機能】

メールチェック実行間隔の削除

【入力形式】

email [<count>] check action interval delete

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9 の 10 進数値で指定します。省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

【説明】

メールチェックの実行間隔の設定を削除します。

9.2 メール転送情報

9.2.1 email send delete

[機能]

メール転送 / メール一覧送信関連情報の削除

[入力形式]

email [<count>] send delete

[パラメタ]

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9の10進数値で指定します。省略した場合は、0を指定したものとみなされます。

[説明]

メール転送 / メール一覧関連情報を削除します。

9.2.2 email send use

【機能】

メール転送の使用有無の設定

【入力形式】

email [<count>] send use <mode>

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9の10進数値で指定します。省略した場合は、0を指定したものとみなされます。

<mode>

- on

メール転送します。

- off

メール転送しません。

【説明】

メールを転送するかどうかを設定します。

【未設定時】

メールを転送しないものとみなされます。

```
email <count> send use off
```

9.2.3 email send server

[機能]

メール転送 / メール一覧送信の送信サーバの設定

[入力形式]

email [<count>] send server <host> [<port>]

[パラメタ]

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9の10進数値で指定します。省略した場合は、0を指定したものとみなされます。

<host>

- メールサーバ名

メール送信に使用するメールサーバ (SMTP サーバ) のホスト名を、0x21,0x23～0x7eの80文字以内のASCII文字列で指定します。

ホスト名を指定した場合は、本装置がDNSサーバを使用可能な状態でなければなりません。

- メールサーバIPアドレス

メール送信に使用するメールサーバ (SMTP サーバ) のホストのIPアドレスを指定します。

<port>

- ポート番号

メールサーバ (SMTP サーバ) のポート番号を、1～65535の10進数値で指定します。省略した場合は、25を指定したものとみなされます。

[説明]

メール転送 / メール一覧送信で使用するメールサーバ (SMTP サーバ) を設定します。

[未設定時]

メール転送 / メール一覧送信で使用するメールサーバ (SMTP サーバ) は未設定です。

9.2.4 email send server delete

【機能】

メール転送 / メール一覧送信の送信サーバの削除

【入力形式】

email [<count>] send server delete

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9 の 10 進数値で指定します。省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

【説明】

メール転送 / メール一覧送信で使用するメールサーバ (SMTP サーバ) の設定を削除します。

9.2.5 email send mailaddr

【機能】

メール転送 / メール一覧送信の宛先メールアドレスの設定

【入力形式】

email [<count>] send mailaddr <mailaddr_count> <to>

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9の10進数値で指定します。省略した場合は、0を指定したものとみなされます。

<mailaddr_count>

- 宛先メールアドレス定義番号

宛先メールアドレス定義番号を、0～4の10進数値で指定します。

<to>

- 宛先メールアドレス

宛先メールアドレスを、0x21,0x23～0x7eの80文字以内のASCII文字列で指定します。

【説明】

メール転送 / メール一覧送信で使用する宛先メールアドレスを設定します。
宛先メールアドレスは、4個まで定義できます。

【未設定時】

メール転送 / メール一覧送信の宛先メールアドレスは未設定です。

9.2.6 email send mailaddr delete

【機能】

メール転送 / メール一覧送信の宛先メールアドレスの削除

【入力形式】

email [<count>] send mailaddr delete <mailaddr_count>

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9の10進数値で指定します。省略した場合は、0を指定したものとみなされます。

<mailaddr_count>

- 削除する宛先メールアドレス定義番号

削除する宛先メールアドレス定義番号を指定します。

- all

すべての宛先メールアドレスを削除する場合に指定します。

【説明】

メール転送の宛先メールアドレスの設定を削除します。

9.2.7 email send from

【機能】

メール転送 / メール一覧送信の差出人メールアドレスの設定

【入力形式】

email [<count>] send from <from>

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9の10進数値で指定します。省略した場合は、0を指定したものとみなされます。

<from>

- 差出人メールアドレス

メール転送時に変更する差出人メールアドレスを、0x21,0x23～0x7eの80文字以内のASCII文字列で指定します。

"delete"を指定することはできません。

【説明】

メール転送 / メール一覧送信で使用する差出人メールアドレスを変更する場合に設定します。本コマンドで設定されたメールアドレスを差出人メールアドレスとして、SMTPサーバにメールの送信を要求します。

差出人メールアドレスが未指定の場合は、メールチェック情報のユーザ名とPOP3サーバ名より、作成したメールアドレスを使用して、SMTPサーバにメールの送信を要求します。

【未設定時】

メール転送 / メール一覧送信の差出人メールアドレスは未設定です。

9.2.8 email send from delete

【機能】

メール転送 / メール一覧送信の差出人メールアドレスの削除

【入力形式】

email [<count>] send from delete

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9の10進数値で指定します。省略した場合は、0を指定したものとみなされます。

【説明】

メール転送 / メール一覧送信で使用する差出人メールアドレスの設定を削除します。

9.2.9 email send size

【機能】

転送メールサイズの設定

【入力形式】

email [<count>] send size <size>

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9の10進数値で指定します。省略した場合は、0を指定したものとみなされます。

<size>

- 転送メールサイズ

転送メールの本文のサイズを、1バイト～6144バイトの10進数値で指定します。

【説明】

転送メールの本文のサイズを設定します。

【未設定時】

転送メールサイズとして、6144バイトを設定したものとみなされます。

```
email <count> send size 6144
```

9.2.10 email send list use

【機能】

メール一覧送信の使用有無の設定

【入力形式】

email [<count>] send list use <mode>

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9の10進数値で指定します。省略した場合は、0を指定したものとみなされます。

<mode>

- on

メール一覧を送信します。

- off

メール一覧を送信しません。

【説明】

メール一覧を送信するかどうかを設定します。

【未設定時】

メール一覧を送信しないものとみなされます。

```
email <count> send list use off
```

9.2.11 email send list format

【機能】

メール一覧フォーマットの設定

【入力形式】

email [<count>] send list format <format>

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9の10進数値で指定します。省略した場合は、0を指定したものとみなされます。

<format>

- 0

1件を複数行のフォーマットで送信します。

- 1

1件を1行のフォーマットで送信します。

【説明】

メール一覧のフォーマットを設定します。

【未設定時】

メール一覧を1件を複数行のフォーマットで送信するものとみなされます。

```
email <count> send list format 0
```

9.2.12 email send filter use

【機能】

メールフィルタの使用有無の設定

【入力形式】

email [<count>] send filter use <mode>

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9の10進数値で指定します。省略した場合は、0を指定したものとみなされます。

<mode>

- on

メールフィルタを使用します。

- off

メールフィルタを使用しません。

【説明】

メールフィルタを使用するかどうかを設定します。

【未設定時】

メールフィルタを使用しないものとみなされます。

```
email <count> send filter use off
```

9.2.13 email send filter default

【機能】

メールフィルタのデフォルト動作の設定

【入力形式】

email [<count>] send filter default <action>

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9の10進数値で指定します。省略した場合は、0を指定したものとみなされます。

<action>

- pass

メールフィルタに一致する条件がない場合は、メールを転送します。

- reject

メールフィルタに一致する条件がない場合は、メールを転送しません。

【説明】

メールフィルタに一致する条件が存在しない場合の動作を設定します。

【未設定時】

メールフィルタに一致する条件がない場合は、メール転送を行うものとみなされます。

```
email <count> send filter default pass
```

9.3 メールフィルタ情報

9.3.1 email filter

[機能]

メールフィルタの設定

[入力形式]

email [<count>] filter <filter_count> action <action> 動作の設定
email [<count>] filter <filter_count> to [<to>] 宛先の設定
email [<count>] filter <filter_count> from [<from>] 差出人の設定
email [<count>] filter <filter_count> subject [<subject>] 題名の設定

[パラメタ]

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9の10進数値で指定します。省略した場合は、0を指定したものとみなされます。

<filter_count>

- メールフィルタ定義番号

メールフィルタの優先度を表す番号を、0～39の10進数値で指定します。

指定した値は、順番にソートされてリナンパリングされます。また、同じ値をもつメールフィルタ定義が既に存在する場合は、既存の定義を変更します。

<action>

条件と一致した場合の動作を設定します。

- pass
条件と一致する場合に、メールを転送します。
- reject
条件と一致する場合に、メールを転送しません。

<to>

- 宛先
対象とするメールの宛先を指定します。
半角で最大40文字まで入力可能(全角で最大20文字まで入力可能)
省略した場合は、すでに指定されている設定をクリアするものとみなされます。

<from>

- 差出人
対象とするメールの差出人を指定します。
半角で最大40文字まで入力可能(全角で最大20文字まで入力可能)
省略した場合は、すでに指定されている設定をクリアするものとみなされます。

<subject>

- 題名
対象とするメールの題名を指定します。
半角で最大40文字まで入力可能(全角で最大20文字まで入力可能)
省略した場合は、すでに指定されている設定をクリアするものとみなされます。

【説明】

メールフィルタを設定します。
メールフィルタは、本装置全体で 40 個まで定義できます。

【未設定時】

メールフィルタは未設定です。

9.3.2 email filter move

【機能】

メールフィルタの優先順序の変更

【入力形式】

email [<count>] filter move <filter_count> <new_filter_count>

【パラメタ】**<count>**

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9の10進数値で指定します。省略した場合は、0を指定したものとみなされます。

<filter_count>

- 対象メールフィルタ定義番号

優先順序を変更するメールフィルタ定義の番号を指定します。

<new_filter_count>

- 移動先メールフィルタ定義番号

<filter_count>に対する新しい順序を、0～40の10進数値で指定します。

すでにこの番号を持つ定義が存在する場合には、その定義の前に挿入されます。

【説明】

メールフィルタの優先順序を変更します。

9.3.3 email filter delete

【機能】

メールフィルタの削除

【入力形式】

email [<count>] filter delete <filter_count>

【パラメタ】

<count>

- ユーザ定義番号

ユーザ定義番号を、0～9の10進数値で指定します。省略した場合は、0を指定したものとみなされます。

<filter_count>

- 削除するメールフィルタ定義番号

削除するメールフィルタ定義番号を指定します。

- all

すべてのメールフィルタを削除する場合に指定します。

【説明】

メールフィルタを削除します。

9.4 TEL メール情報

9.4.1 email tel use

【機能】

TEL メール使用有無の設定

【入力形式】

email tel use <mode>

【パラメタ】

<mode>

- on
TEL メールを使用します。
- off
TEL メールを使用しません。

【説明】

TEL メールを使用するかどうかを設定します。

【未設定時】

TEL メールを使用しないものとみなされます。

```
email tel use off
```

9.4.2 email tel delete

【機能】

TEL メール情報の削除

【入力形式】

email tel delete <port>

【パラメタ】

<port>

アナログポート番号を指定します。省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

- 0
TEL1 ポート
- 1
TEL2 ポート
- all

すべての TEL メール情報を削除する場合に指定します。

【説明】

TEL メール情報を削除します。

9.4.3 email tel send

【機能】

TEL メールの宛先と送信サーバの設定

【入力形式】

email tel [<port>] send <to> <from> <smtp_host> [<smtp_port>]

【パラメタ】

<port>

アナログポート番号を指定します。省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

- 0
TEL1 ポート
- 1
TEL2 ポート

<to>

- 宛先メールアドレス
TEL メールの宛先メールアドレスを、0x21,0x23 ~ 0x7e の 80 文字以内の ASCII 文字列で指定します。

<from>

- 差出人メールアドレス
TEL メールの差出人メールアドレスを、0x21,0x23 ~ 0x7e の 80 文字以内の ASCII 文字列で指定します。

<smtp_host>

- メールサーバ名
TEL メール送信時に使用するメールサーバ (SMTP サーバ) のホスト名を、0x21,0x23 ~ 0x7e の 80 文字以内の ASCII 文字列で指定します。
ホスト名を指定した場合は、本装置が DNS サーバを使用可能な状態でなければなりません。
- メールサーバ IP アドレス
TEL メール送信時に使用するメールサーバ (SMTP サーバ) の IP アドレスを指定します。

<smtp_port>

- ポート番号
メールサーバ (SMTP サーバ) のポート番号を、1 ~ 65535 の 10 進数値で指定します。省略した場合は、25 を指定したものとみなされます。

【説明】

TEL メールの送信サーバに関する情報を設定します。

【未設定時】

TEL メール送信サーバに関する情報は未設定です。

9.4.4 email tel send delete

【機能】

TEL メールの宛先と送信サーバの削除

【入力形式】

email tel [<port>] send delete

【パラメタ】

<port>

アナログポート番号を指定します。省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

- 0
TEL1 ポート
- 1
TEL2 ポート

【説明】

TEL メール送信情報を削除します。

9.4.5 email tel auth

[機能]

TEL メール認証情報の設定

[入力形式]

```
email tel [<port>] auth use <mode>
email tel [<port>] auth server <host> [<pop3_port>]
email tel [<port>] auth type <type>
email tel [<port>] auth user <user> <pass> [encrypted]
```

[パラメタ]

<port>

アナログポート番号を指定します。省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

- 0
TEL1 ポート
- 1
TEL2 ポート

<mode>

- on
メール送信の前に POP 認証を行います。
- off
メール送信の前に POP 認証を行いません。

<host>

- メールサーバ名
認証するメールサーバ (POP サーバ) のホスト名を、0x21,0x23～0x7e の 80 文字以内の ASCII 文字列で指定します。
ホスト名を指定した場合は、本装置が DNS サーバを使用可能な状態でなければなりません。
- メールサーバ IP アドレス
認証するメールサーバ (POP サーバ) のホストの IP アドレスを指定します。

<pop3_port>

- ポート番号
メールサーバ (POP3 サーバ) のポート番号を、1～65535 の 10 進数値で指定します。
省略した場合は、110 を指定したものとみなされます。

<type>

- pop
POP の認証方式で USER/PASS コマンドを使用します。
- apop
POP の認証方式で APOP コマンドを使用します。

<user>

- ユーザ名
認証に使用するユーザ名を、0x21,0x23～0x7e の 32 文字以内の ASCII 文字列で指定します。

<pass>

- パスワード
認証に使用するパスワードを、0x21,0x23 ~ 0x7e の 32 文字以内の ASCII 文字列で指定します。
- 暗号化されたパスワード
show コマンドで表示される暗号化されたパスワードを encrypted と共に指定します。
show コマンドで表示される文字列をそのまま正確に指定してください。

encrypted

- 暗号化パスワード指定
<pass>に暗号化されたパスワードを指定する場合に指定します。

【説明】

TEL メール送信前に行う認証情報に関する設定を行います。

別プロバイダ経由で TEL メールを送信する場合、SPAM などの不正メール対策により、メールの送信が行えない場合があります。

プロバイダによっては、メール送信する前に POP 認証を行えばメール送信が行える (POP before SMTP 方式) 場合があり、この場合には、本コマンドで認証情報を設定することにより、TEL メールの送信ができます。

【注意】

show コマンドでは、暗号化されたパスワードが encrypted と共に表示されます。

show email tel [<port>] auth user を実行すると、暗号化していないパスワードが表示されます。

【未設定時】

TEL メールの送信前に POP 認証を行わないものとみなされます。

POP の認証方式で USER/PASS コマンドを使用するものとみなされます。

ユーザ名およびメールサーバ名は設定しないものとみなされます。

```
email tel <port> auth use off
      email tel <port> auth type pop
```

9.4.6 email tel interval

【機能】

TEL メールを送信間隔の設定

【入力形式】

email tel [<port>] interval <time>

【パラメタ】

<port>

アナログポート番号を指定します。省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

- 0
TEL1 ポート
- 1
TEL2 ポート

<time>

- 送信間隔
送信間隔を、18000 秒 (5 分) ~ 604800 秒 (7 日) の範囲で指定します。
単位は、d(日)、h(時)、m(分)、s(秒) のいずれかを指定します。

【説明】

TEL メールを送信間隔を設定します。
送信間隔を設定しない場合は、着信毎に TEL メールを送信します。

【未設定時】

TEL メールを送信間隔を設定しない (着信毎に TEL メールを送信する) ものとみなされます。

9.4.7 email tel interval delete

【機能】

TEL メールの送信間隔の削除

【入力形式】

email tel [<port>] interval delete

【パラメタ】

<port>

アナログポート番号を指定します。省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

- 0
TEL1 ポート
- 1
TEL2 ポート

【説明】

TEL メールの送信間隔の設定情報を削除します。
送信間隔を設定しない場合は、着信毎に TEL メールを送信します。

9.4.8 email tel info

【機能】

TEL メールの送信内容の設定

【入力形式】

email tel [<port>] info <format>

【パラメタ】

<port>

アナログポート番号を指定します。省略した場合は、0 を指定したものとみなされます。

- 0
TEL1 ポート
- 1
TEL2 ポート

<format>

- default
発信者番号、着信番号と着信時刻を送信します。
- out
発信者番号と着信時刻を送信します。

【説明】

TEL メールの送信内容を設定します。

【未設定時】

発信者番号と着信番号を送信するものとみなされます。

```
email tel <port> info default
```

9.5 メール着信通知情報

9.5.1 mailinfo mailrcv use

【機能】

メール着信通知の使用有無の設定

【入力形式】

mailinfo mailrcv use <mode>

【パラメタ】

<mode>

- on
メール着信通知を使用します。
- off
メール着信通知を使用しません。

【説明】

メール着信通知を使用するかどうかを設定します。

【未設定時】

メール着信通知を使用するものとみなされます。

```
mailinfo mailrcv use on
```

9.5.2 mailinfo mailrcv display

【機能】

メール着信通知の送信者 / 受信者 / 題目表示有無の設定

【入力形式】

mailinfo mailrcv display <mode>

【パラメタ】

<mode>

- on
送信者 / 受信者 / 題目を表示します。
- off
送信者 / 受信者 / 題目を表示しません。

【説明】

メール着信通知の送信者 / 受信者 / 題目の表示の有無を設定します。
off の場合は、メール着信通知の件数のみを表示します。

【未設定時】

メール着信通知の送信者 / 受信者 / 題目を表示するものとみなされます。

```
mailinfo mailrcv display on
```

9.5.3 mailinfo mailrcv check

【機能】

メール着信通知の着サブアドレスチェック有無の設定

【入力形式】

mailinfo mailrcv check <mode>

【パラメタ】

<mode>

- subaddr
着信サブアドレスをチェックします。
- off
着信サブアドレスをチェックしません。

【説明】

メール着信通知において着信サブアドレスをチェックするかどうかを設定します。
メール着信通知における着信サブアドレスのチェック方法については、mailinfo mailserv subaddr の [説明] を参照してください。

【未設定時】

メール着信通知において着信サブアドレスをチェックしないものとみなされます。

mailinfo mailrcv check off

9.5.4 mailinfo mailrecv subaddr

[機能]

メール着信通知用サブアドレスの設定

[入力形式]

mailinfo mailrecv subaddr <subaddress>

[パラメタ]

<subaddress>

- メール着信通知用サブアドレス
メール着信通知用サブアドレスを、0x21,0x23 ~ 0x7e の 19 桁以内の ASCII 文字列で指定します。
"delete"を指定することはできません。

[説明]

メール着信通知用の自側サブアドレスを設定します。

wan isdn number で指定する自側サブアドレスと、メール着信通知用サブアドレスの両方を設定した場合、メール着信通知用サブアドレスが優先されます。

メール着信通知における着信サブアドレスのチェックは、以下のように行われます。

- 着信サブアドレスをチェックする場合
設定したサブアドレスと着信サブアドレスが一致した時だけメール着信通知を受信します。サブアドレスが未設定の場合は、着信サブアドレスなしの時しか受信しません。
- 着信サブアドレスをチェックしない場合
着信サブアドレスを無視してメール着信通知を受信します。

サブアドレス設定によるメール着信の受信

		着信サブアドレス			
			な し	あ り	
自側サブアドレス設定	メール着信通知用サブアドレス設定	なし	一致	不一致	
	なし	on	○	—	×
	なし	off	○	—	○
	あり	on	×	○	×
	あり	off	○	○	○

○ : 受信可、× : 受信不可、— : 条件なし
on : "mailinfo mailrecv check subaddr" を指定した場合
off : "mailinfo mailrecv check off" を指定した場合

[未設定時]

メール着信通知用の自側サブアドレスは未設定です。

9.5.5 mailinfo mailrcv subaddr delete

【機能】

メール着信通知用サブアドレスの削除

【入力形式】

mailinfo mailrcv subaddr delete

【説明】

メール着信通知用の自側サブアドレスの設定を削除します。